



# 地方創生交付金 対象事業評価結果

常総市まち・ひと・しごと創生総合戦略会議を経て

～ 変わるまち 変わらぬ思い 常総市 ～

平成 30 年 1 月

常総市総務部行政経営課

# CONTENTS

## 02 地方創生とは？

- 03 地方創生 / まち・ひと・しごと創生法
- 04 常総市の取り組み / KPI (ケイピーアイ)
- 05 常総市人口ビジョン・総合戦略の構成
- 06 総合戦略の進捗管理

## 07 地方創生関係交付金

- 08 地方創生交付金の概要①
- 09 地方創生交付金の概要②

## 10 交付金事業評価結果

- 11 No.1 常総市まち・ひと・しごと創生総合戦略策定事業
- 13 No.2 企業誘致・定住促進事業
- 15 No.3 観光情報発信事業
- 17 No.4 子育て世代交流促進事業
- 19 No.5 子育て世代応援事業
- 21 No.6 ノーマライゼーション社会促進事業
- 23 No.7 防災教育事業
- 25 No.8 スマートウェルネス都市推進事業
- 27 No.9 国際スポーツ・文化交流促進事業
- 29 No.10 復興のシンボル：豊田城サービスイノベーション
- 31 No.11 地域公共交通広域連携事業



# || 地方創生とは？

人口減少や雇用減少などに苦しんでいる**地方自治体の活性化**を目指すこと。第二次・安倍内閣で使用された用語。

【引用：日本大百科全書】

## まち・ひと・しごと創生法

地方創生を実現させるために、2014年11月に国会で可決・成立された法律。この法律に基づき、同年12月に、取組みの指針となる「**まち・ひと・しごと創生長期ビジョン**」及び「**まち・ひと・しごと創生総合戦略**」が定められた。

国での地方創生の動きを受け、2016年6月に「**常総市まち・ひと・しごと創生人口ビジョン・総合戦略**」(以下「常総市人口ビジョン・総合戦略」)を策定した。

- 計画期間 **2016年～2020年**までの**5年間**

## KPI (ケイピーアイ)

重要業績評価指標のこと。組織において、業績の評価を定量的に評価するための指標。

「**K**ey **P**erformance **I**ndicator」の略。常総市人口ビジョン・総合戦略では、このKPIの**数値的達成度**により**進捗管理**を行う。

# 常総市人口ビジョン・総合戦略の構成

## 2つの人口目標

- 2020年国勢調査人口 **59,000** 人を堅持する。
- 2060年国勢調査人口 **47,000** 人を堅持する。

## 2つの戦略目標

- 現時点で 1.39 と全国平均（H28年 1.44）よりも低い合計特殊出生率を、2030年までに **1.80**、2040年までに **2.10** に上昇させる。
- 転出超過の加速傾向から脱却し、転出超過を回避する。

## 4つの戦略分野

戦略分野1 常総市における安定した雇用を創出する	戦略分野2 常総市への新しいひとの流れをつくる	戦略分野3 常総市における若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる	戦略分野4 時代に合った常総市をつくり、安心な暮らしを守るとともに、常総市と他の地域を連携する
<b>市民市内在働人口率</b> 現況：56%（2010年国勢調査） 目標：60%（2020年国勢調査）	<b>子育て世代（20～49歳）転入出人数</b> 現況：265人転出超過（2012年10月1日～2015年9月30日） 目標：転入超過（2017年10月1日～2020年9月30日）	<b>合計特殊出生率</b> 現況：1.39（2008年～2012年） 目標：1.50（2018年～2022年）	<b>市民からの苦情・意見件数</b> 現況：2,098件（2012年度） 目標：1,000件（2020年度）
<b>県内市町村民所得順位</b> 現況：15位（2012年度） 目標：10位以内（2020年度）	<b>豊田城周辺施設利用人数</b> 現況：10万人（2014年度） 目標：15万人（2020年度）	<b>待機児童数</b> 現況：16人（2015年10月1日現在） 目標：0人（2020年10月1日現在）	<b>1,000人当たり犯罪率順位</b> 現況：17位（2015年） 目標：3位（2020年）
<b>女性の就業率</b> 現況：48%（2010年国勢調査） 目標：50%（2020年国勢調査）	<b>休日滞在人口率</b> 現況：1.76倍（2014年） 目標：2.30倍（2020年）	<b>学校に行くのが楽しいと思っている児童・生徒の割合</b> 現況：88.7%（2015年） 目標：90.7%（2020年）	<b>広域および産官学金の連携事業実施件数</b> 現況：15件（2015年） 目標：23件（2020年）

人口目標・戦略目標の達成度を測定

## 戦略 KPI

- 4つの戦略分野ごとに3つの**戦略 KPI**を設定（ $4 \times 3 = 12$ ：戦略 KPI は合計 12 個）

戦略 KPI の達成度を測定

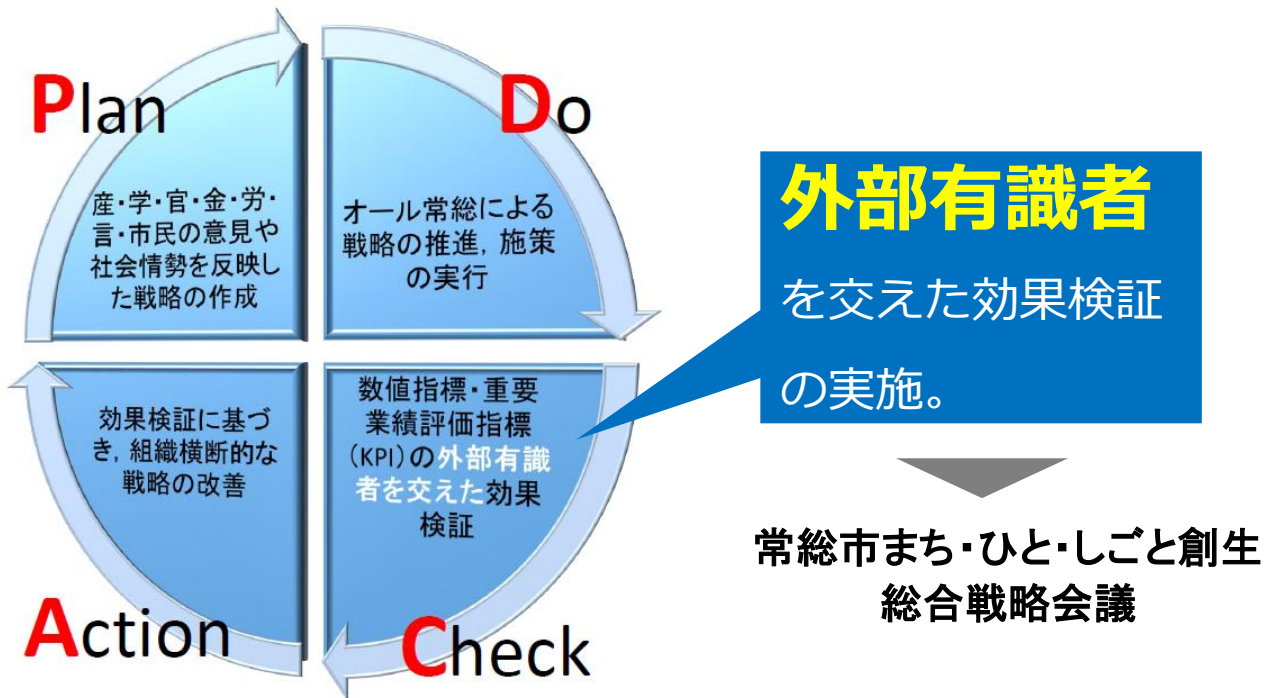
## 重点分野・戦術 KPI

- 12 個の戦略 KPI ごとに3つの**重点分野**と**戦術 KPI**を設定（ $12 \times 3 = 36$ ：重点分野は合計 36 個 = 戦術 KPI の数）

## 主要施策

- 36 個の重点分野に合計 105 個の主要施策を設定

PDCA サイクルによる進捗管理。



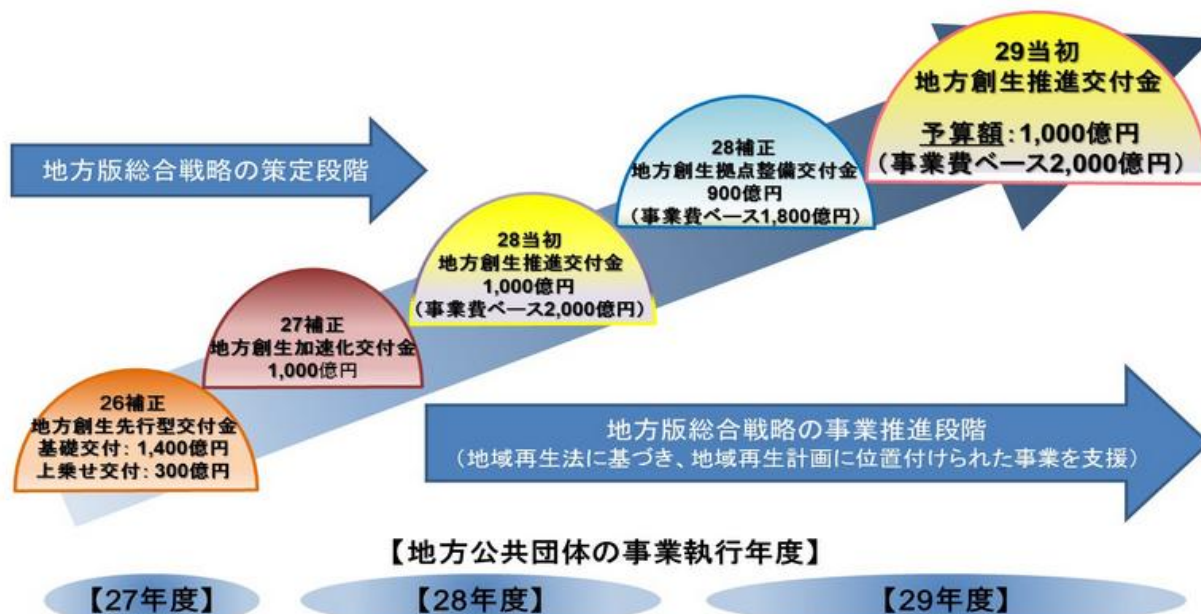


# 地方創生関係交付金



# 地方創生交付金の概要①

- 自治体の自主的・主体的な取組で、先導的なものを支援
- KPIの設定とPDCAサイクルを組み込み、従来の「縦割り」事業を超えた取組を支援



※内閣官房まち・ひと・しごと創生本部事務局ホームページより。

- ① 地方公共団体での地方創生を推進するため、国は様々なメニューの交付金を創設した。
- ② 常総市でも交付金を活用し、様々な事業を実施している。
- ③ 交付金を活用して実施した事業は、**外部有識者**による**効果検証**を行い、国へ報告する**義務**がある。

まち・ひと・しごと創生総合戦略会議で効果検証！

## 先行型交付金

- ・ 地方公共団体による総合戦略の早期かつ有効な策定と、これに関する優良事業の実施に対する支援。

## 加速化交付金

- ・ 総合戦略に基づく自治体の取り組みについて、先駆性を高め、レベルアップの加速化を図るための支援。

## 推進交付金

- ・ 総合戦略に基づく自主的な取り組みのうち、地域再生法に基づく地域再生計画に認定された、先導的な事業に対する支援。

## 拠点整備交付金

- ・ 総合戦略に基づく自主的な地域拠点づくりの事業のうち、未来への投資の実現につながる先導的な施設整備に対する支援。

# 交付金事業評価結果

これより先、交付金対象事業の事業概要と、まち・ひと・しごと創生総合戦略会議(市民有識者)のみなさまに実際にいただいた評価結果となります。



交付金区分

地方創生先行型交付金

事業年度

平成28年度  
※水害により前年度から事故繰越

事業実績額

9,877,500円

事業概要

地方の現状を的確に把握・分析し、まち・ひと・しごと創生法に基づく地方人口ビジョン及び常総市まち・ひと・しごと創生総合戦略の策定を行う。

事業内容

- 常総市まち・ひと・しごと創生総合戦略マネジメントシステムの共同研究
- 常総市まち・ひと・しごと創生総合戦略会議運営事業
- 人口ビジョン及び総合戦略印刷業務



まち・ひと・しごと創生総合戦略会議の様子①



まち・ひと・しごと創生総合戦略会議の様子②



H28.6に策定された「人口ビジョン・総合戦略」



まち・ひと・しごと創生総合戦略会議の様子③

## 事業所管課の評価

### 「地方創生に効果があった！」

本事業で策定されたまち・ひと・しごと創生総合戦略は、復興計画と一体となり、庁内各課において水害後の実情に即した重点施策との共通認識が図られました。

また、現在策定中となる次期総合計画においても総合戦略が反映される予定であり、人口ビジョンにおいても総人口や合計特殊出生率の目標値が共有・反映される予定です。



行政経営課

## KPIの達成度

### 戦略KPI

当該事業は、「まち・ひと・しごと創生総合戦略」そのものを策定するための事業であることから、まち・ひと・しごと創生総合戦略における**戦略KPI・戦術KPI**とも設定されていない。

### 戦術KPI

当該事業は、「まち・ひと・しごと創生総合戦略」そのものを策定するための事業であることから、まち・ひと・しごと創生総合戦略における**戦略KPI・戦術KPI**とも設定されていない。

## 戦略会議(市民有識者)の評価

総合戦略は地方創生を推進するための礎となる計画であり、それを策定できたことは地方創生に向けて一定の効果はあったと思われる。ただし、計画の中には、短期的に効果が得られる分野、または中長期的に行わなければ効果が分からない分野など、その内容は様々であることから、これらを継続できるか、更には他市との間で差別化を図ることができるか等、常総市としての特色を出していくことが今後は重要であると考えます。

また、地方創生を一層加速させるためにも、コストカットばかりを最初に考えるのではなく、未来を見据えての投資も必要であると考えます。



戦略会議



交付金区分

地方創生先行型交付金

事業年度

平成28年度  
※水害により前年度から事故繰越

事業実績額

7, 339, 688円

事業概要

地方で仕事をする環境をつくり、安心して働けるように、市内への企業の移転・企業及び定住の促進を積極的に図るための調査を行い、ホームページ等において「住まいのプラットフォーム」を作成する。

事業内容

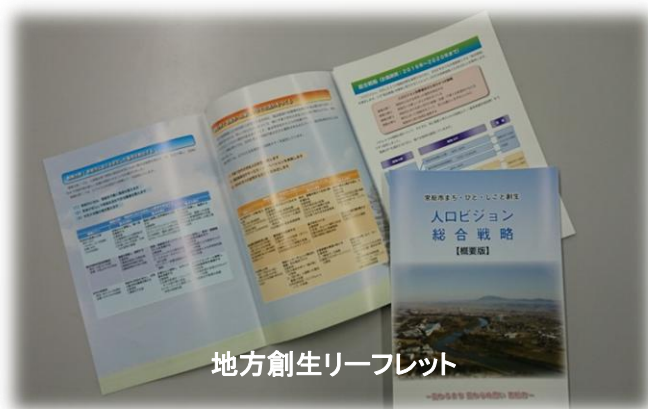
- 日野自動車 PR イベントブース出展(観光パンフレット・うまい棒の配布)
- 常総市定住支援プラットフォーム(土台となる環境)構築事業
- 地方創生リーフレット作成業務(人口ビジョン及び総合戦略の概要版)



日野自動車 PR イベントの様子①



日野自動車 PR イベントの様子②



地方創生リーフレット

## 事業所管課の評価

### 「地方創生に効果があった！」

日野自動車工場の古河市移転に伴う定住促進のPR事業(常総市にすんでもらうためのPR)については、移住者のニーズを把握することに非常に役立ちました。定住支援プラットフォーム構築事業により、今後地方において重要な課題となる「空き家問題」について、市の現状を把握することが出来ました。具体的には、市内の空き家について、現状での数量と、現地調査による空き家の現状把握を行い、GISによる分布図及び調書、地区別の特性等が整理されました。更に、市内の不動産事業者に対するヒアリングから、本市の不動産市場の特性や問題点が把握できました。また、プラットフォーム構築に向け、庁内横断的に様々な課が協力して対応する体制を構築することができました。地方創生リーフレットについては、市民や企業に向けて広く、地方創生(まち・ひと・しごと創生)の取組を周知することに役立ち、市民と行政が協力して取り組むために機運醸成の一助となりました。



行政経営課

## KPIの達成度

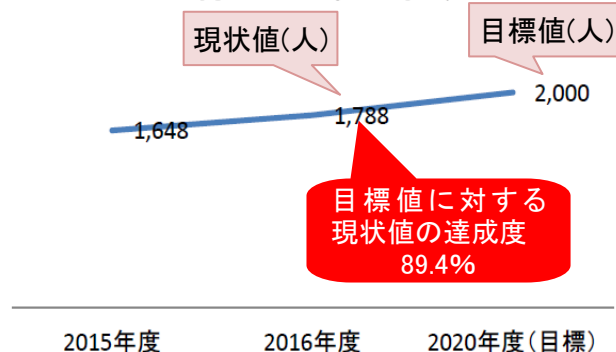
### 戦略KPI

#### 子育て世代(20~49歳) 転入出人数



### 戦術KPI

#### 子育て世代転入者数



## 戦略会議(市民有識者)の評価

### 「地方創生に効果があった！」

移住者ニーズや不動産における市の現状と特性、問題点が把握できた点などにおいては有効であったと考えられる。また、子育て世代の転入転出にも一定の効果があったと思われる。しかし、定住促進には時間とのマッチングが必要不可欠であり、短期間における効果について議論しても大きな意味は持たない。順調に増加傾向を辿れるか、また転入者がどれだけ定着するか、ということに重点を置くべきであると考え。常総市は、定住自立圏構想において中心市の要件を満たしていることから、リーダーとなって広域連携を深めながら、定住促進を加速していただきたい。

また、空き家については今後大きな課題へと発展していくものと思われるが、地域の居住環境の保全を図ることは、転入者の定着促進にも繋がると思われる。そのためにも、都市計画の見直し、産業地域や居住地域の拡大、交通インフラや教育環境の充実など、定住促進に向けて総合的な議論が必要である。いずれにしても、これで終了ではなく、中長期的なビジョンを市民へも周知しつつ、進めていただきたいと考える。



戦略会議

交付金区分

地方創生先行型交付金

事業年度

平成27年度

事業実績額

5,875,200円

事業概要

水海道駅前の市観光案内所が閉鎖され、その機能を市役所が担っている状況である。観光情報を求めて公共施設へ来庁する市民や市外の方のために、観光及び市の情報を網羅的に把握できるデジタルサイネージを設置する。

事業内容

- デジタルサイネージ看板設置事業



デジタルサイネージって？

ディスプレイなどの電子的な表示機器を使って情報を発信するシステム。



市役所本庁舎1階に設置された「デジタルサイネージ看板」



## 事業所管課の評価

### 「地方創生に効果があった！」

市観光物産協会では、デジタルサイネージ看板により、お客様に観光・名産品・イベント開催の情報発信や、庁舎の案内など来庁者にお知らせすることで、情報発信に一定の効果があったものと考えています。

今後は、随時情報を更新し、更なる観光の発展並びに地域情報の発信に努めます。

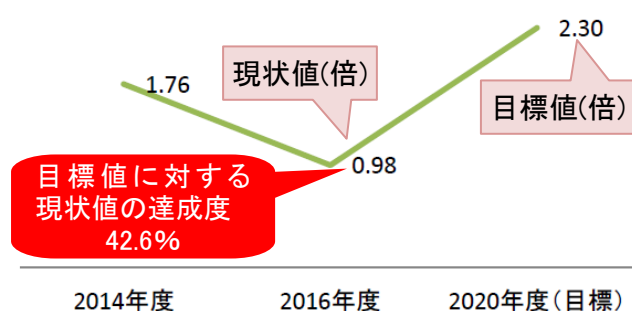


商工観光課

## KPIの達成度

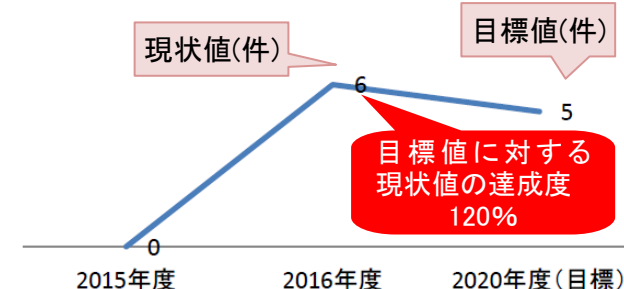
### 戦略KPI

#### 休日滞在人口率



### 戦術KPI

#### 地元コンテンツを活かした体験型イベント



## 戦略会議(市民有識者)の評価

### 「地方創生に効果があった！」

デジタルサイネージ看板の設置は、情報の更新を随時行える点においては有効であったと思われる。ただし、設置箇所が市役所庁舎内のみであることを考慮すれば、その効果はあまり期待できないのではないかと。新しい人の流れをつくることを目的とするならば、市役所内のみならず、豊田城や水海道駅周辺など、人目に触れやすい場所に設置するべきである。同時に、デジタルサイネージ看板が設置されたことを知らない市民が多いと思われるため、PR等の周知徹底も必要であると考えている。

また、観光情報発信を充実させるという観点では、デジタルサイネージ看板の設置だけでは物足りなさを感じる。新聞・テレビ・ラジオ等、マスメディアでも取り上げてもらえるような企画を模索するとともに、SNSなどを活用したPRも必要である。



戦略会議

交付金区分

地方創生先行型交付金

事業年度

平成27年度

事業実績額

4, 050, 828円

事業概要

子育て相談会の実施や保護者同士の交流を促すため、来庁される方々のためのキッズスペース及び保護者交流スペースを設置することで、子育てしやすいまちをアピールすることができる。

事業内容

- 石下庁舎へのキッズスペース設置事業
- 常総市子育て支援情報誌作成事業
- 子育て世代に向けたイベント開催（ファシリテーションを活用した協働のまちづくり研修・イクボス育成研修）



イクボス育成研修（JAとの共同宣言）



常総市子育て支援情報誌



石下庁舎に設置されたキッズスペース

イクボスって？

男性の従業員や部下の育児参加に理解があり、積極的に支援する職場づくり。

ファシリテーションって？

会議などの集団活動のスムーズな進行と、その成果を上げる手法。



## 事業所管課の評価

### 「地方創生に効果があった！」

子ども連れで市役所に来庁された方にとっては、子どもをキッズスペースで遊ばせておけることで手続きや相談等に集中できるようになります。これを鑑みれば、子育て世代の市役所来庁者にとっては一定の効果をあげることができたと考えています。

子育て支援情報誌については、これまで子育て支援や関連情報に特化した情報誌がなかったが、デザインも見やすく、手に取ってもらいやすいものが出たことで、子育て世代の方へのアピールができました。

イベント開催については、国の働き方改革の動きもあり、第一線で活躍する方の講演と、県内 2 番目のイクボス宣言を常総ひかり農協と共同で実施でき、県内で共同宣言したのは当市が最初でした。

ファシリテーション研修については、子育て世代だけでなく、さまざまな世代や立場の人たちの交流をより活性化するためのツールとしてのファシリテーションスキルを身につけることができました。

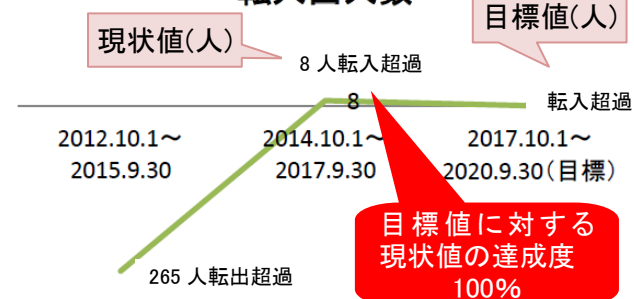


行政経営課

## KPI の達成度

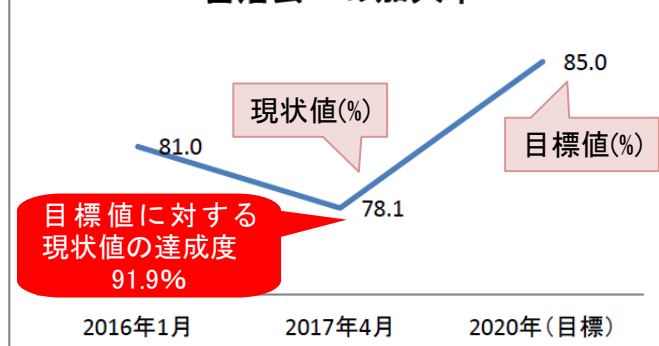
### 戦略KPI

#### 子育て世代(20~49歳) 転入出人数



### 戦術KPI

#### 自治会への加入率



## 戦略会議(市民有識者)の評価

### 「地方創生に効果があった！」

キッズスペースを設置したことは、子育て世代に対する施策としては一定の効果があったと思われる。ただし、石下庁舎のキッズスペースは手続きをする窓口から見えない場所に設置されているため、キッズスペースで遊んでいる子どもが目に入る場所で手続きが可能となるよう、改善が必要である。子育て支援情報誌は、中身も見やすく、情報もかなり充実しているため、相当の効果があったと思われる。

また、共働き世帯の増加に伴い、子育てするうえでは父親の理解・協力も必要となる中、イクボス育成研修会は効果があったと考えられるため、企業や地域社会などへも広く派生させていただきたい。子育て世代への支援は、継続させることが何よりも重要であると思われるため、今後も継続して推進させていただきたいと考える。



戦略会議

### 交付金区分

地方創生先行型交付金

### 事業年度

平成27年度

### 事業実績額

6,969,395円

### 事業概要

のびのび子育て相談教室などの実施とともに、耳下腺炎やインフルエンザ等の予防接種用の一部を助成することで経済的な負担を軽減し、接種回数を増やすことで感染や重症化を予防し、若い世代が安心して子育てし、働ける環境をつくることで子育て世代の定住促進を図る。

### 事業内容

- 耳下腺炎・インフルエンザ予防接種助成事業(助成件数については、耳下腺炎予防接種 573 件・インフルエンザ予防接種 4,649 件)

## ❖ インフルエンザ予防接種の豆知識 ❖

### インフルエンザとは？

インフルエンザにかかった人が咳やくしゃみをすることで、ウイルスが空気中に広がり感染します。

症状は突然の高熱・頭痛・関節痛・筋肉痛などで、気管支炎や肺炎などを合併し重症化することもあります。

### 予防接種を受けることができない方

- ①明らかに発熱している方（通常は37.5℃を超える場合）
- ②重い急性疾患にかかっている方
- ③このワクチンの成分によってアナフィラキシーなどを伴う重いアレルギー反応をおこしたことがある方
- ④インフルエンザの予防接種で、接種後2日以内に発熱の見られた者及び全身性発疹等のアレルギーを疑う病状を呈したことがある方
- ⑤その他、かかりつけの医師に予防接種を受けないほうがよいといわれた方

## おたふくかぜ予防接種について

※予防接種を受ける前に必ずお読みください。

### 1. おたふくかぜ(流行性耳下腺炎)とは

- ・ムンプスウイルスの飛沫・接触感染で発症します。
- ・2～3週間の潜伏期の後に、発熱や耳の下(耳下腺)が腫れることなどがあり、多くの場合は回復しますが、重い合併症を引き起こすこともあります。
- ・合併症として最も多いのが無菌性髄膜炎で頻度は約50人に1人とされます。
- ・重度の難聴が1000人に1人くらいに起こり、注意がうながされています。
- ・まれに脳炎、膵臓炎、精巣炎、卵巣炎などを起こすことがあります。





## 事業所管課の評価

### 「地方創生に非常に効果があった！」

のびのび子育て相談や教室を実施したことにより、孤立しがちな親子の交流の場や育児相談の機会を提供することができました。

また、耳下腺炎やインフルエンザの発生とまん延を予防し、小児全体の免疫水準の維持を目的とした予防接種費用の一部を助成したことにより、接種環境の整備を図ることができました。

本事業は、現在も継続しており、のびのび子育て相談や教室の参加人数は増加しています。



保健推進課

## KPIの達成度

### 戦略KPI

#### 合計特殊出生率

データ未更新  
により達成度  
計測不可

1.39

1.50

目標値

2008年～2012年      2013年～2017年      2018年～2022年(目標)

### 戦術KPI

#### 妊婦検診受診者数

目標値(人)

6,200

5,649

現状値(人)

目標値に対する  
現状値の達成度  
79.3%

4,918

2014年度      2016年度      2020年度(目標)

## 戦略会議(市民有識者)の評価

### 「地方創生に効果があった！」

子育て世代の転入転出者が転入増加に転じていることから、子育て世帯への経済的な負担の軽減という観点からも若年層の定着を図ることに対して一定の効果があったと考えられる。しかしながら、予防接種の助成については周辺自治体も類似の施策を実施していると思われるため、総合的な地域間の競争で優位に立つためにも、常総市独自の子育て支援策を展開していただきたい。



戦略会議

交付金区分

地方創生先行型交付金

事業年度

平成27年度

事業実績額

2, 802, 729円

事業概要

障がいのある方もそうでない方も誰もが住みやすい社会を目指して、障がい児への支援のあり方など教育補助員への継続的な研修を通じて、小中学校に在席する障がい児の教育的ニーズに対応し、学校教育の円滑な実施を図るため、必要な教育補助員を配置し、安心できる教育環境を構築することで、若い世代の出産・子育ての希望をかなえる。

事業内容

- 障がい児教育補助員雇用事業  
(特別支援を要する障がい児に対する学校教育活動の支援)

ノーマライゼーションって？

障がい者も、健常者と同様の生活が出来る様に支援すべき、という考え方。また、そこから発展して、障がい者と健常者とはお互いが特別に区別されることなく社会生活を共にするのが正常なことであり、本来の望ましい姿であるとする考え方。またそれに向けた運動や施策なども含まれる。

(ウィキペディアより)



## 事業所管課の評価

### 「地方創生に相当程度効果があった！」

教育補助員が、障がいのある幼児児童生徒の学校教育・学校生活の総合的な支援について研修を行うことにより、幼児等との信頼関係を築きつつ、心身の全体的な発達を促す事ができた。

また、よりよい教育環境を創造し、学校教育・学校生活を円滑に送れるよう補助をする事ができた。

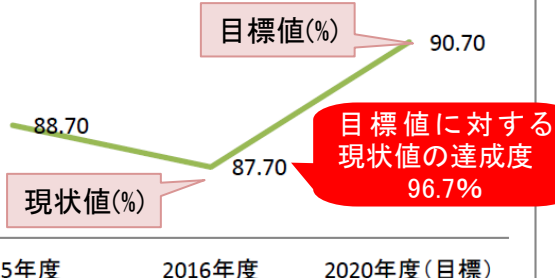


学校教育課

## KPI の達成度

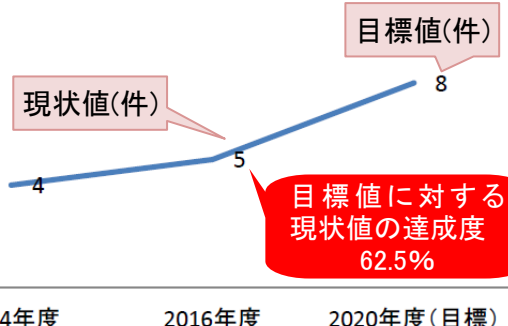
### 戦略KPI

#### 学校に行くのが楽しいと思っている 児童・生徒の割合



### 戦術KPI

#### 外国語圏との交流イベント



## 戦略会議(市民有識者)の評価

### 「地方創生に効果があった！」

障がい児に対する教育支援は、障がいのある児童生徒も地域の一員として生活するための第一歩であり、大変重要な施策であると考えている。当該事業の KPI である「学校に行くのが楽しいと思っている児童・生徒の割合」が 90% に近づきつつあることから地方創生に効果があったと考えられるが、残念ながら 10 人に一人は楽しいと思っていない状況となる。これらの児童について、少数だからと言って諦めるのではなく、深刻な問題を抱えていないかどうか、注意深く探ることも必要である。

また、障がいを持つ家庭向けのイベントも充実させると共に、障がい児への支援だけでなく、健常者への理解を求める働きかけも積極的に行っていたいただきたい。



戦略会議

交付金区分

地方創生先行型交付金

事業年度

平成27年度

事業実績額

3, 447, 600円

事業概要

いつどこで起こるか分からない非常災害時において、適切な対応をするための防災教育を行い、安心な暮らしを守り、災害時においても地域全体で子どもたちを守っていける地域環境をつくる。

事業内容

- 防災物品購入(緊急防災8点セット)及び全児童への配布



常総市内全児童に配布された緊急防災8点セット



## 事業所管課の評価

### 「地方創生に効果があった！」

これまでも各小学校で避難訓練を実施していたが、水害を想定した避難訓練は行われていませんでした。関東・東北豪雨後、学校生活のみならず、日頃から家庭での防災や避難行動に関する話し合いや備えが大切であることを再認識したところです。

このようなことから、緊急防災セットを全児童に配布することにより防災教育の一助となったほか、各家庭や小学校、地域における防災や危機意識の向上が図られました。

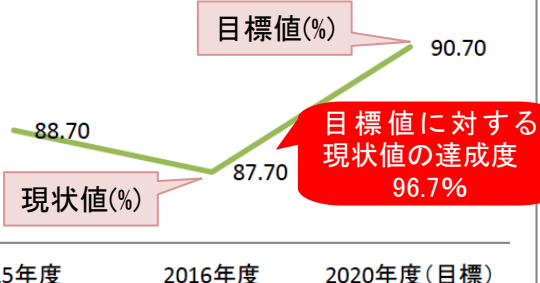


防災危機管理課

## KPIの達成度

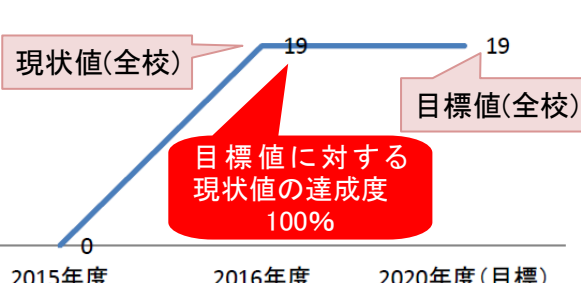
### 戦略KPI

#### 学校に行くのが楽しいと思っている児童・生徒の割合



### 戦術KPI

#### 水害経験を活かした郷土愛育成授業を実施した学校数



## 戦略会議(市民有識者)の評価

### 「地方創生に効果があった！」

緊急防災セットの配布は、防災啓発に対して一定の効果があったと考えられる。今後は、防災教育の一環として、講演会やシンポジウム、幼稚園から高校生までを対象とした防災訓練などにも取り組んでいただきたい。

災害時にはまず自己の生命・身体を守ることが非常に重要である。そのためには、日頃からの防災に対する意識付けを行うと共に、災害時に計画どおりに行動できるように、実際に体を動かす実践的な防災訓練が必要であると考え。常総市の防災教育を充実させるためにも、今後は更に発展させた施策展開を期待する。



戦略会議

交付金区分

地方創生先行型交付金

事業年度

平成28年度  
※水害により前年度から事故繰越

事業実績額

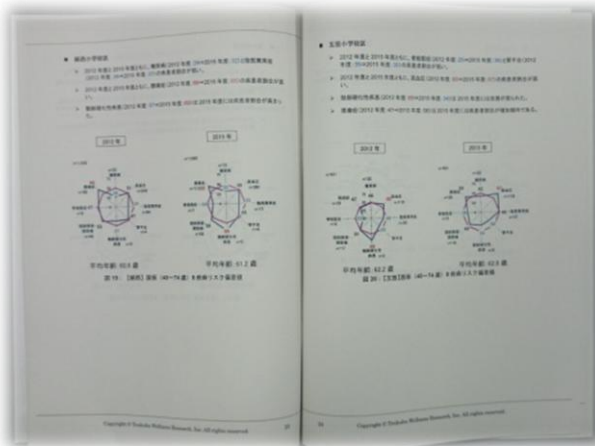
6,709,084円

事業概要

医療データと都市のインフラ等に関するデータを連動させて、客観的な評価指標で自治体の健康施策の提案・検証を行い、にぎわいのあるまちを創出し、特に30代から40代の家を建てる世代に住んでみたいと思ってもらえるような、若い世代から高齢者までの誰もが生涯にわたり健やかで幸せに暮らせる「健幸」なまちづくりを目指す。

事業内容

- 健幸クラウドシステム構築事業



スマートウェルネス都市って？  
住むだけで健康になれる新しいまちづくり。

健幸クラウドシステムって？  
スマートウェルネス都市施策の企画・分析・評価を行うための情報通信システム。



健康クラウドを活用した解析支援報告書

## 事業所管課の評価

### 地方創生に効果があった！

県内では初めて、人だけでなく、街の健康度を測るツールとしての評価システムを導入することが出来ました。また、国民健康保険団体連合会や後期高齢者医療広域連合の協力を得て、医療レセプトデータや介護保険データ等の提供を受けました。今後は、他の保険者や筑波大学との共同研究を発展させて、若い世代から高齢者まで誰もが健やかで幸せに暮らせるまちづくりを実現するためのツールとして、保健事業等と連携しながら、活用していきます。

今後は、筑波大学の協力のもと、AIを活用した健康づくりのプロジェクトへつなげていきます。



行政経営課

## KPI の達成度

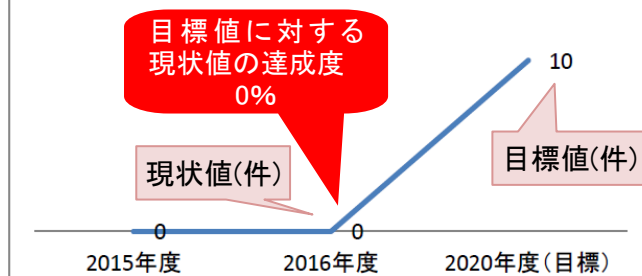
### 戦略KPI

#### 市民からの苦情・意見件数



### 戦術KPI

#### 多世代交流による健康増進イベントの実施件数



## 戦略会議(市民有識者)の評価

### 「地方創生に効果があった！」

住むだけで健幸になれるまちが実現できれば大変素晴らしいことである。その意味でも、人の健康・まちの健康を測定できる AI を活用したシステムの導入は画期的であり、大きな効果が期待される。ただし、導入したシステムがどのように市民生活に反映されるかが不明確である上に、個々人の生活習慣等に依存する割合が非常に大きく、短期的に効果を測定することは困難な分野であると考えられる。「常総市に住むと健康になれる」ようなまちづくりを推進するためにも、当該取り組みについては、今後も発展させて継続していただきたい。



戦略会議

交付金区分

地方創生先行型交付金

事業年度

平成27年度

事業実績額

2, 732, 524円

事業概要

筑波大学との連携やブラジル人が県内でもつくば市に次いで居住する環境をいかして、世界の国々との交流促進を図るため、東京オリンピック・パラリンピックをきっかけに、事前キャンプ等の誘致に向けて、地域が一体となってPRを図るためのパンフレット等を作成し、関係者や大使館等を訪問して、誘致につなげ、今後のスポーツや文化交流の推進につなげる。

事業内容

- 東京オリンピック・パラリンピックキャンプ地誘致パンフレット作成事業



東京オリンピック・パラリンピックキャンプ地誘致パンフレット(日本語・外国語)



## 事業所管課の評価

### 「地方創生に非常に効果があった！」

東京オリンピック・パラリンピックキャンプ地誘致PRのため、連携協定を締結している筑波大学体育系を訪問し、キャンプ地誘致パンフレット(日本語・英語)をもとに市のPRや配布を行い、誘致に向けた活動を実施しました。平成29年6月28日、柔道およびバドミントンの事前キャンプ地選定のため、インドスポーツ省関係者及びインド大使館関係者が石下総合体育館を視察に訪れ、その際、市のPRやキャンプ誘致パンフレット(日本語・英語)を配布し誘致活動を行いました。今後もキャンプ地誘致やスポーツ・文化交流に向けて積極的にパンフレットを活用し働きかけを行っていきます。

また、ハンドボール関係者のもとを訪問し、キャンプ地誘致に向けパンフレットを配布、今後も世界の国々に常総市のPRを図るため、パンフレットを活用し、引き続き誘致活動を推進していきます。

茨城県を通じてスロベニア事前キャンプ地の視察依頼があり、茨城県を介してキャンプ地誘致パンフレット(日本語・英語)を提供しました。

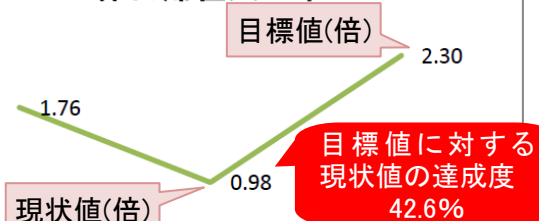


秘書課

## KPIの達成度

### 戦略KPI

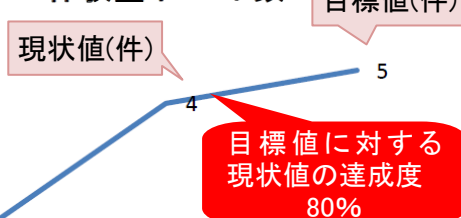
#### 休日滞在人口率



2014年度 2016年度 2020年度(目標)

### 戦術KPI

#### 地元コンテンツを活かした体験型イベント数



2015年度 2016年度 2020年度(目標)

## 戦略会議(市民有識者)の評価

### 「地方創生に効果があった！」

東京オリンピック・パラリンピックのキャンプ地となることが決定すれば、当該国の選手はもとより、選手の家族・マスコミ等、多くの人々が常総市を訪れることが見込まれる。その一歩として、パンフレットを作成しキャンプ地誘致として積極的に働きかけることは、地域の発展に一定の効果が得られると考える。ただし、パンフレットを作成して終了ではなく、コネクションネットワークなどをいかに、工夫を凝らしながらキャンプ地誘致に繋げていただきたい。さらに、オリンピック・パラリンピック終了後の計画的な施設活用・維持管理まで含めた検討は必須であると考えている。

また、東京オリンピック・パラリンピックキャンプ地誘致の一方で、既に市内に居住しているブラジル人の方々が中心となり、外国人の子ども達とのスポーツ交流を促進してもらえるような施策も必要ではないか。スポーツや文化は、言葉の垣根を越えやすく、友情が芽生えるきっかけにもなると考えられ、ひいては将来的なスポーツの振興にも繋がると考えられる。



戦略会議

## 交付金区分

地方創生加速化交付金

## 事業年度

平成28年度

## 事業実績額

33,962,000円

## 事業概要

親子で学び・遊べるコンテンツの提供として、市文化財をデジタル化して市の歴史を紹介する「映像博物館」、体験型の室内プロジェクションマッピングを実施する。さらに、子育てサロンや地元の農産物を使用したカフェを設置するほか、「城下町プロジェクト」として、農産物直売所及び市内の手焼きせんべい屋によるせんべい横町を整備する。

## 事業内容

- 常総市の歴史を綴ったデジタルアーカイブ作成事業（文化財デジタル化・防災教育用立体模型及び投影用映像作成など）
- 豊田城内改修工事（内装工事・映像機器設置工事）



## 事業所管課の評価

### 地方創生に非常に効果があった！

当館のリニューアル(H29.4.29)再開後、2か月経過で約3,600人の来館者(ホール利用を除く展示室観覧)がありました。これは、年間約6,000人~7,000人で推移していた近年に比べ3倍の伸びとなっています。来館者に対してアンケート調査を実施したところ、市外からの来館者が約8割を占め、そのうち「大変良かった」との回答が7割を超える結果でした。

当該事業によって改修した5階の交流スペースは、子育て世代をはじめ市民の交流の場として使用しているほか、6階のデジタルミュージアムは、歴史資料等をデジタル映像を駆使した紹介により、市の情報を広く発信する重要なツールにもなっています。これらの取り組みは、今後、当館を拠点として市内に点在する文化・歴史施設や観光施設、物産施設等との結びつきを確立することに大きく前進するものと捉えており、さらなる交流人口の増加と地域の活力向上を図っていく考えです。

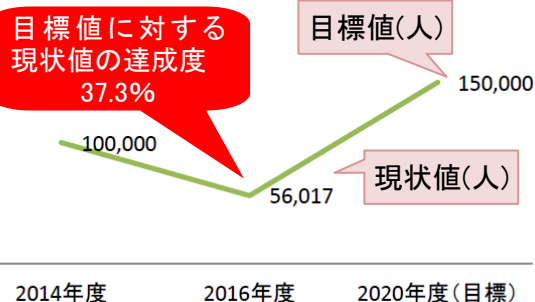


生涯学習課

## KPIの達成度

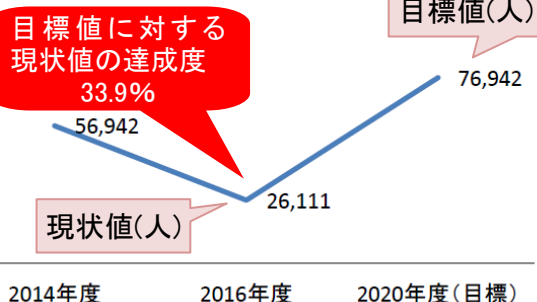
### 戦略KPI

#### 豊田城周辺施設利用人数



### 戦術KPI

#### 豊田城内利用人数



## 戦略会議(市民有識者)の評価

### 「地方創生に効果があった！」

豊田城リニューアル以降の来館者が大きく増加しており、豊田城周辺施設への波及効果も大きいと考えられ、豊田城改革の第一歩として、効果が期待できる事業であると考えます。特に、市外からの来館者が増えたことは、休日滞在人口率の向上にも寄与することにもなるため、地方創生の事業として有効であると思われる。ただし、今回の、復興のシンボルとしての豊田城の改修やデジタルアーカイブ事業は、地方創生に向けたスタート地点である。今後は、来館者を更に増加させるためにも、防災都市らしいプロジェクトや復興のメッセージを発信できるような思い切ったイベントなども開催していただきたい。



戦略会議



交付金区分

地方創生加速化交付金

事業年度

平成28年度

事業実績額

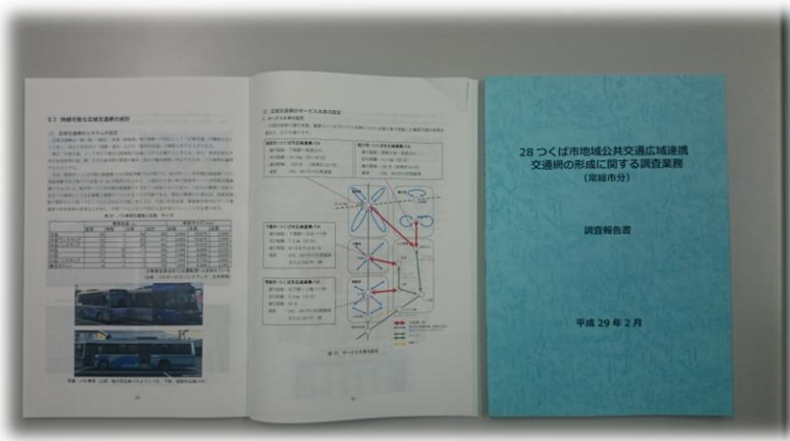
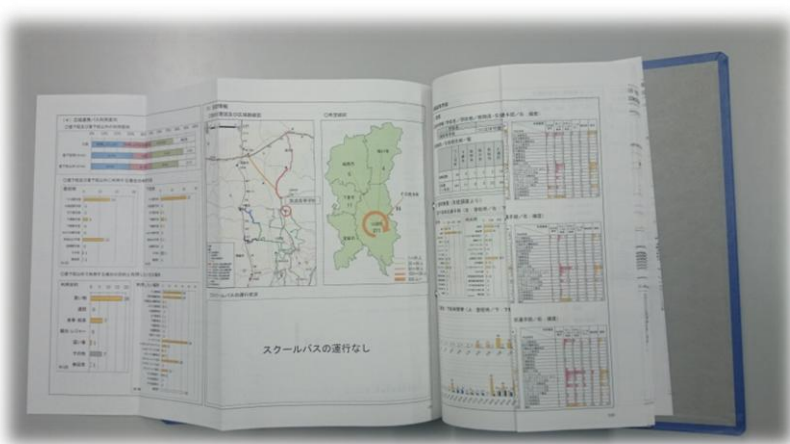
4,989,600円

事業概要

公共交通網の広域連携を図るために、5市間(つくば市・下妻市・筑西市・桜川市・常総市)の市民の移動状況及びニーズ、交通需要を把握し、その結果を踏まえて、広域連携でコミュニティバスの連携市間乗り入れを検討する。単独では難しい分野における地方創生に取り組んでいき、この事業をきっかけとして今後様々な分野での広域連携への取組を増やしていく。

事業内容

- 地域公共交通広域連携交通網の作成に関する調査(つくば市との共同調査)



地域公共交通広域連携交通網の形成に関する調査報告書



## 事業所管課の評価

### 地方創生に効果があった！

つくば市を中心とした5市(つくば市・下妻市・筑西市・桜川市・常総市)による共同調査を行うことにより、市民の移動実態及びニーズ並びに交通需要について把握することができたほか、つくば市との広域連携公共交通について、想定路線による調査研究を行ったことにより、乗降客数や収支を含めた事業費の見込みなど、運行における課題整理を行うことができました。

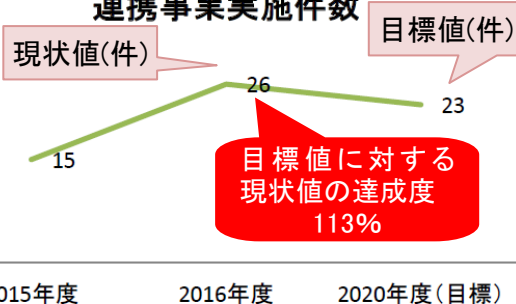


行政経営課

## KPIの達成度

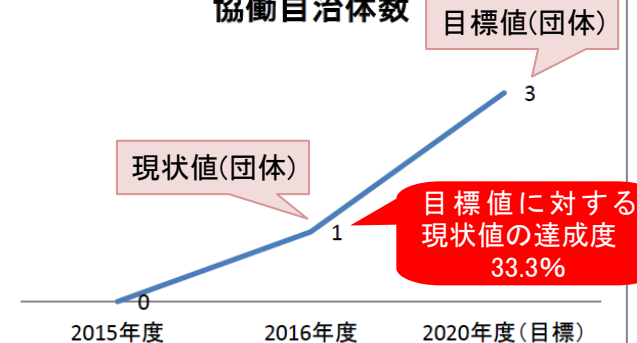
### 戦略KPI

#### 広域および産官学金の連携事業実施件数



### 戦術KPI

#### 協働自治体数



## 戦略会議(市民有識者)の評価

### 「地方創生に効果があった！」

公共交通の整備は、常総市への転入促進に向けて欠かせない施策のひとつである。地方創生をより一層加速するためには広域連携は必須であり、広域連携による公共交通網の整備促進は、地方創生に一定の効果があったと考えられる。また、今後、高齢化社会を迎え、自力で自家用車を運転できなくなった場合は地域の公共交通に頼らざるを得ない。今後の高齢化社会を見据えて広域的な地域間連携を図ることは各地域を維持する上で必須であり、今後もさらに発展させていきたい。

常総市における公共交通は第一に関東鉄道常総線があげられるが、バスについては非常に脆弱である。乗り合い交通だけでは観光者や定住者には不便と見なされ、まず「来る」ことに対して常総市は選ばれにくいと考える。新しい人の流れをつくるためにも、市内循環バスの導入は必要ではないか。



戦略会議

評価結果は、以上です。  
ここまでお読みください、あ  
りがとうございました。  
今回は、すべての交付金事  
業について「**効果があった**」と  
いうありがたい評価をいただ  
きました。しかし、それと同  
時に数々の付帯意見もいただ  
きました。頂戴した貴重な  
ご意見は、今後の地方創生  
にいかしてまいります。

